

アートとまちをつなぐ伊丹の

アイテム

2009

秋

Vol.09

(財)伊丹市文化振興財団

TAKE FREE

特集

伊丹の祭りがええじゃないか。



大好評の連載陣

【まちなか美術手帖】

四季折々に変化する作品

【芸は身を助く】

飽くなき美への探求

【終演後の一軒】

茶舗の「新しみ」～茶舗「木蔭」～

【舞台の裏側】

コスチュームとジュエリーの妥協なき共同作業

【伊丹遺産】

野鳥のオアシスで、愛される水鳥

第7回

昆陽池のカモ

昆陽池公園

千年後の伊丹人に残したい

伊丹遺産 THE ITAMI HERITAGE



野鳥のオアシスで、愛される水鳥

仲良く泳ぐマガモのオス(左)とメス。
オスは伊丹市マスコット「たみまる」のモデル。



関西屈指の渡り鳥の飛来地、昆陽池公園には毎年約3000羽の水鳥が冬越しにやってくる。中でもカモは、間近で観察しやすい鳥として親しまれ、市の鳥にも指定されている。

古く奈良時代に名僧行基が農業用ため池として造ったとされる昆陽池は、昭和48年に公園として整備された。50種近い野鳥のうちカモは約10種と種類も多く、色や形態もさまざま美しいことから人気を集める。シベリアやアラスカなど北国から冬の寒さをしのぐために飛来する。ところで昆陽池では飼育している白鳥に1日2回餌やりを行うが、すばしこいカモが横取りしている状態だとか。さすがカモ。

パンダ顔で愛らしい「ミコアイサ」は探鳥会メンバーたちのお目当てのひとつ。冬場は毎日のように訪れる人もあり、野鳥のオアシスにはぎわう。

観察メモ:10時前・15時前の餌やりタイムには間近で多数を観察できる ●お問い合わせ伊丹市みどり公園課(072-784-8134)



【取材と文:内山真理子】伊丹アイフォニックホール所属 世界の音楽を紹介する「地球音楽シリーズ」コンサートを担当。ローカル～グローバルな「伝統芸能」と日々奮闘中。「当ホールでは毎年、友の会事業として各地の祭りを訪れるツアーを開催。ご興味持たれた方はぜひご入会を」

伊丹ふるさと寄附

ご寄附を通じて、ふるさと伊丹を応援してください

伊丹市では「夢と魅力のあるまち伊丹」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。寄附金の活用は「芸術・文化」「スポーツ」など10テーマからご指定いただけます。

【お問合せ】伊丹市総合政策部政策室 TEL.072-784-8007 <http://www.city.itami.lg.jp/furusaitoitami.html>

祭りに人あり。「これぞ、うちの代表選手」を教えてもらいました。



鴻池地車保存会の
福永洋一さん(右)
松原早苗さん(左)

荒牧天日神社若中会の
西田健嗣さん(中央)
堀古仁志さん(右)
土井明さん(左)

祭り人

現場絶対主義。荒牧三銃士。

「祭り好きやからな。自然とみんな集まるんや」と会長西田さんは結束の強さを語る。天日神社の氏子による若中会は、盆踊りや自治会行事でも年中活躍する。今年の三役は幼なじみとあって、サポート体制は万全だ。祭りは予定通りにはいかない。突然の判断には、三人ですぐに結論を出す。「いちびりすぎはアカン」と引き締める一面も。でもな…と堀古さんと土井さんが続ける。「今年の会長は絶対なかやるで」「ま、それで盛り上がるんやけどな」。笑いあう姿に祭り男の気質がうかがえた。

義理と人情の連携プレー

こどもからお年寄まで参加する鴻池で、全員の気持ちをつなげる役割は欠かせない。「気持ちバラバラやったら、動くもんも動かへん」と福永洋一さんと松原早苗さんは、コミュニケーションに気を配る。松原さんが若手の悩みやベテランの小言をやわらかく受け止め、福永さんが保存会の調整に入る。二人のコンビネーションに周りも「よっしゃ、やるか」と奮い立つようだ。「祭りやねんから、イキな感じで楽しくかつこよく。そんな姿を若い子たちには見せたいね」と口ぶりはアツくあたたかい。

**Q 祭りの歴史を
知りたいんですが。**
地区によって「この人に聞け」な生き字引が存在するが、西野は云われとなる文献が一式揃って発掘されたという。今は素盞鳴神社の収納庫にだんじりと併せて保管されている。

**Q 市内にだんじりや
みこしは
いくつあるの？**
17個程度と言われるが、神社に眠ったままになっていたりものも含めればまだ増えるかもしれない。ハッキリした数字は取材では不明。調べる価値はアリ。



だんじりやおみこしが練り歩く。

秋の収穫を祝う神事、なにとくらいは知ってるけど…

知るときっと楽しくなる、地元のお祭り入門。

◎特集取材：編集部・小田垣由紀（市民サポーター）

伊丹の祭りが ええじゃないか。



リズム感あふれるお囃子や、威勢のいい掛け声。農家が収穫を終えた10月中旬になると、各地でお祭りムードが高まってくる。地区の名前が染め抜かれた半被をまとい、自慢のだんじりやふとん太鼓で練り歩く。地元愛がすぐられるハレの日である。

氏神様を乗せ、地元の人たちの健康を祈願し、神社へと戻る。「巡幸は二日間」「宮入は夜に」など決まりがあり、こうした神事が代々受け継がれていることにまずは驚く。

一般には地元の人間しか参加できないと言われるが、「中心市街地らしく、ひらかれたものにした」と市内外を問わない宮ノ前の例もある。祭りの熱気をもっと味わいたいなら、自ら担いでみるのもいいかもしれない。

地元愛くすぐる
ハレの日



百花繚乱、自慢の一台

祭りは熱気だけではない。だんじりやふとん太鼓には脈々と伝わる歴史がある。

「鴻池地区」のだんじりは、酒造業で栄えたからか「大さき」、豪華さは伊丹「と謳われる。」「荒牧地区」は、岸和田の職人も一目おくと言われる明治時代の宮大工「大佐」が作っており、源平盛衰記が施された彫り物はマニア垂涎、遠方からも見物客が訪れる。ほかに100年以上のだんじりを自分たちで修理しながら今に伝える「西野地区」や、

四つの太鼓台やふとん太鼓を所有する「昆陽地区」など、それぞれ味わい深い。伊丹の祭りは期せずして同日開催が多い。今年には自転車で走り回り、比べ楽しむのも一興だろう。



やっぱり町内で見るのが一番でしょ。
秋まつり一覧
十月・十一月
「昆陽」東天神神社秋まつり
「西野」東天神神社秋まつり
「宮ノ前」秋の宮前まつり
十月十一・十二日
「鴻池」鴻池神社秋まつり
十月十七・十八日
「荒牧」天日神社秋まつり

伊丹のだんじり・みこしが集結

「伊丹自慢のだんじり、みこし等を集めて、アピールしたい」と2006年からは、「伊丹だんじり・みこしフェスティバル」がはじまった。会場の伊丹小学校に一堂が集い、地区を超えて一斉に練り歩く姿は圧巻だ。「これがないかったら、よその事は知れなかったわ」と実行委員長長の西田健嗣さん。総勢400人以上の担ぎ手や曳き手が集まることで生まれた交流はかけがえない経験だったようだ。



伊丹だんじり・みこしフェスティバル

11月3日(火・祝)
11:00~14:00頃
伊丹小学校ほか
※雨天中止



地区自慢のアピール合戦、撮影会、体験コーナーでひとしきり堪能した後、中心市街地を一斉に練り歩く。

お問合せ

伊丹市都市企画室
電話072-784-8068

Q 練り歩く以外に何かある？

荒牧では出発時、景気づけのため、クラッカーを鳴らしてお餅をまくといった演出が見もの。鴻池では宮入前、「にわか」と言われるメンバーによる芝居やかくし芸が行われる。



Q 道すがら出会ったら…？

花代(祝儀)を渡す事に、チャレンジしてほしい。お返しにふとん太鼓を高く持ち上げる「さす」や、万歳三唱など地区ごとの技で応えてくれるぞ。旦那衆気分を味わってみよう。花代にはお酒も可。

Q かけ声はなんて言っているの？

ふとん太鼓は重さ1t以上。担いで歩くには気持ちを一つにするリズムが必要だ。「337拍子が揃いやすい」と宮ノ前は「ヨイヨイヨイヤサー」がベースリズムとか。

Q 一番の見どころはどこ？

何十人の男たちが二日にわたって、体を酷使し練り歩く。最後の夜、神社へ納める「宮入」は残りの気力を振り絞る壮絶なシーンだ。感極まって涙する見物者多数。関係者も全員口を揃えて勧める「ベストオブ祭り」なのだ。



財団四季の

vol.9
芸は身を助く



伊丹市立
ローラースケート場
西日本唯一のローラースケート連盟公認リンク。フィギュア・スピードスケート・ホッケーなどで賑わう。西日本大会なども開催(フィギュア・スピード)。



飽くなき美への探求、ローラーフィギュアに憧れる

ローラースケート場があるんですよ！伊丹には。元ダンサーとしてはフィギュアスケートをやりたいと燃えつつ取材です。

04年全国大会優勝の松本裕里選手が教えて下さる事に。先生のシャープで流麗な曲線美にうっとり。女子が求める引き締めエクササイズ要素が満載で、自然に鍛えられるのだとか。

さてフィギュアと言えばバックで滑るのが基本。だけども思い出してみても、私。ローラースケート履いたことないよ…。さすがに恐怖心で“くの字”になっていると、「フィギュアは美しさが求められる競技。姿勢は綺麗に、視線は遠くに投げた感じで滑ってみて！」と。おずおず腰と首を

伸ばし視界を上げてみると確かに重心が安定します。バランスが乱れたと感じた瞬間に的確な指摘が貰えて、“コケかけた原因が何か”が分析できて、面白くて仕方ないんですけど！

次は憧れのスピン。左踵と右つま先を持ち上げ、腰のシェイプを解く反動で回転します。左右で違う位置に瞬で体重を乗せるのに大混乱。靴も予想以上に重く、こんな絶妙のバランスだったとは！気持ちだけはクルクル回っているつもりで1/4回転、角度変え…頑張りました。

正直よちよち歩きで精一杯でしたが、やっぱり美を追求する為の技や努力って大好物。再確認出来て幸せでした。

スピードディーにフェアリースケートが滑りぬけます。



フィギュアなポーズ。滑れそうに見えますか？



レディたちがスピンのお手本を見せてくれました。



いたみローラースクール開催。年間で第1〜5期あり。詳細は伊丹市ローラースケート協会・ローラースケート場(072-773-0081)。

まちなか美術手帖

【みやのまえ文化の郷×重森完途】
学芸員が美術館から飛び出し、伊丹のまちなかをたずむアート作品を紹介。普段何げなく見ていたものが実はすごい作品だったんです。

みやのまえ文化の郷は、柿衛文庫・美術館・工芸センター・郷町館が集まる複合施設。その中央に各地の庭園を手がけ、高い創造性で評価される作家・重森完途の枯山水があることを知る人は少ない。

まず目を引くのはゆったりと大きな曲線を描く白砂。清酒発祥の地・伊丹の井泉や湧水、清流を表し、点在する青石が水流を生む。計算された石の配置と砂紋は、せせらぎを想像させ五感を刺激する。

脇には小さく盛り上がった山が数ヶ所あり、黒松が堂々と構える。1年通して葉が茂り、地面を這う草や苔の緑と合わせて緑と白砂のコントラストを見事に演出する。春には枝垂れ桜とツツジが彩りを加える。

従来とは違い植栽の少ない明るく理解しやすい構成は、口語を駆使した自由で新しい作風を特色とする伊丹風俳諧に習ったもの。「くの字」に置かれた飛石と石橋を渡り山水に身を置くのも良いが、旧石橋家住宅

四季折々に変化する作品



重森完途
(1923-1992)

島根県庁庭園やホテル穴道湖庭園など多数手がけ、京都林泉協会会長等を歴任、外務省文化使節としてオセアニアで講演するなど庭園研究家としても活動した。父は日本庭園造営の第一人者である重森三玲(1896〜1975)。伊丹では個人邸を含め数ヶ所手がけるが、観賞できるのは本作のみ。写真は本人自ら砂紋を引いたもの(1987年)。

2階の座敷から俯瞰すれば、重森完途が描いた線と点がまるで立体抽象画のように浮かび上がる。限られた土地に壮大な山海を表現する「自然」。日本では古来より庭園を愛で、四季を感じながら時が過ぎるのを静かにゆっくりと楽しんできた。今も忙しい都市空間のなかで、私たちに宿る感性を呼び覚ます。



【取材と文：岡本梓】伊丹市立美術館所属「風刺とユーモア」をコンセプトとする美術館にふさわしく、伊丹をナメから見る「理論よりも感性」な現場肌の学芸員、専門は近現代美術。「そりゃもちろん焼きもちでしょ」

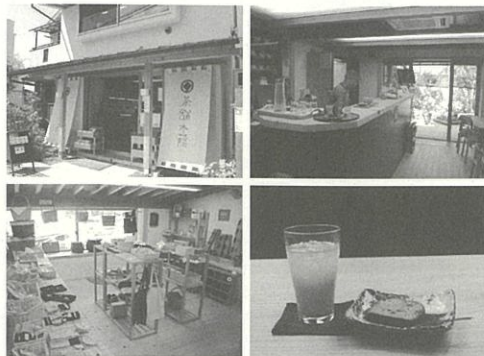


【取材と文：加藤四季】いたみホール所属 声楽を学び、社交ダンスでは全国大会出場経験も持つ「歌って踊れる」ホールスタッフ。「小学校の頃はスーパーボールすくいでお小遣いを使い果たしてました」

伊丹には感動の余韻を楽しませてくれるお酒と料理がちゃんとありました。

終演後の一軒

A DOOR AFTER THE SHOW



「木蔭」オリジナルブレンドの煎茶「青龍」100g1,050円、「ささら」100g840円、「こかげ」100g840円ほか。カフェメニューはアイス煎茶・抹茶、紅茶、コーヒーもあり。自家製パウンドケーキも人気。1階では和の小物、2階ではナチュラルカントリー雑貨・ハンドメイド小物が並び。



静岡をはじめ嬉野、宇治などの問屋で茶葉を厳選。山間地で栽培さ

いらしく植わっている。

茶舗の「新しみ」

芭蕉の句とともに並ぶアート作品が、込められた意味を自分なりに膨らます楽しさを伝えてくれる。

10/3(土)~11/23(月・祝) □会場: 柿衛文庫

『芭蕉 - 新しみは俳諧の花 -』

芭蕉の世界と現代アート



芭蕉の世界を様々な解釈した現代アート作品が楽しめる展覧会。つねに「新しみ」を求め続けた芭蕉と、芭蕉に触れることで自己の創造活動に「新しみ」を見いだした現代作家たちによる刺激的な交響。

あなたはそこにどんな「新しみ」を発見するか？

10/3(土)~11/23(月・祝) 10:00~18:00(入館は17:30まで)。
一般700円・大高生450円・中小生350円 072-782-0244



茶舗「木蔭」

高台1-127-7
TEL:072-744-7318 火休
10:00~18:00(Pあり)



舞台の裏側

今回の裏側 「キタイギタイ」ひびのこづえ展 一生きもののかたち 服のかたち

7/25~9/23 美術館・工芸センター・郷町館

舞台や映画の衣装をてがけるコスチューム・アーティストひびのこづえさんの展覧会。「虫」をテーマにした作品や、代表的な衣装や家具、日用品が一挙に展示された。ユニークなかたちや豊かな色彩にあふれ、来場者の目を楽しませた。すべて購入可、その場で持ち帰りOKという構成も新鮮だった。



コスチュームとジュエリーの妥協なき共同作業

赤・黒・白・グレーとカラフルに並ぶ「虫」。

工芸センター内伊丹ジュエリー・カレッジの学生たちが、地元企業の協力のもと、ひびのさんと制作したオリジナルのネックレスや指輪である。「飾られるだけではダメ。実際に流通し使ってもらうことで作品は完成する」というひびのさんの考えから、6種のデザイン画から手仕事で500個ほど作った。

1点モノの制作とは違い、誰が作っても均一なレベルにするには、サイズから仕上がりまで細かく定められた基準を満たさなければならぬ。いわば職人仕事であるが、一方ひびのさんのイメージを具現化し、商品として世に送り出す過程にも苦労があった。揃えた素材が「環境にやさしくない」と却下されたり、型から作り直さなければならぬ修正は数回ではない。「顔の知らない人に買ってもらう」というあたりまえの事がいかに厳しいかわかった」と学生は充分刺激になったようだ。

ジュエリーは今後もひびのさんのウエブショップなどで継続して販売される。日本屈指のコスチューム・アーティストのオリジナルグッズに伊丹が関わった事を誇りたい。



【取材と文: 植田康行】事業企画課施設担当 「困ったら僕に聞け」舞台、音響、電気、パソコン...7つの施設の管理を一手に引き受けるメカニックマン。「昔、祭りで酔っ払う大人を見て、反面教師にしていたのになあ……」

【取材と文: 宮村賢治】いたみホール所属 アートプロジェクトのオモシロさにみせられ、日々商店街やまちなかをぶらつく。「河内音頭を踊った夏祭り。秋の祭りはわっしょいいたみとブンムルパレードが楽しみ」



11・28(土)～1・11(月・祝) 北斎! 広重! 幕末江戸の大賑わい!!

文化・文政期から始まる幕末江戸では浮世絵がかつてないほどの賑わいをみせました。本展では中右コレクションによる北斎や広重、国貞や国芳など、幕末浮世絵師たちの浮世絵と肉筆の約155点を一堂紹介し、その魅力に迫ります。

『中右コレクション 幕末浮世絵アラカルト 大江戸の賑わい～北斎・広重・国貞・国芳らの世界～』 11/28(土)～1/11(月・祝) 10:00～18:00(入館は17:30まで) 一般700円、大高350円、中小100円 072-772-7447

美術館



11・22(日) サザエさんの歌がやってくる!

お魚くわえたドラ猫♪ではじまる「サザエさん」の主題歌を歌っている宇野ゆう子。本業はシャンソン歌手としてハスキーヴォイスで聴衆を魅了しています。美しいシャンソン、懐かしい童謡など幅広いレパートリーをお楽しみ下さい。

『宇野ゆう子コンサート～サザエさんから、童謡、シャンソンまで～』 11/22(日)14:00 一般1,200円、高校生以下60歳以上1,000円(当日各200円増) 072-781-8877

ラストホール



12・14(月) 思い出のあの曲がよみがえる…

実は、古くから日本でも親しまれてきたロシア民謡。ユーラシア大陸の北に大きく広がるロシアでは、民謡のルーツも実に様々。国立モスクワ・アカデミー合唱団が、哀愁ただよう懐かしの名曲を世界最高峰のハーモニーでお送りします。

『アイフォニック地球音楽シリーズ146 ああ頃のうた ロシア民謡』 12/14(月)19:00 一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増) 072-780-2110

伊丹アイフォニックホール



国立モスクワ・アカデミー合唱団

10・9(金)～10・12(月・祝) 伊丹発! こどもとおとなの音楽劇

昨年、好評を博した「こどもとおとなのための」音楽劇が再演! 北欧神話のファンタジックな世界観をベースに歌とダンスを盛り込んだ楽しい作品をぜひおやこで。伊丹を皮切りに三重・石川・長崎の全国4ヶ所へと巡回する注目作品です。

平成21年度公共ホール演劇ネットワーク事業「どくりつ こどもの国」 10/9(金)15:00、10/10(土)11:00/15:00、10/11(日)15:00、10/12(月・祝)11:00～15:00、一般2,000円、学生・ユース1,500円(当日各500円増)。こども1,000円

アイホール



10・21(水)～10・25(日) チューホフは笑いを教えてくれる

「斉藤さん」(NTV)のドラマ脚本などでも注目の土田英生が作・演出! 「桜の園」「三人姉妹」で有名なチューホフの初期の短編から笑いのエッセンスを抜き出す試みを。トークイベントなど結成20周年の関連企画にも期待です。

MONO+AI・HALL共同製作 MONO特別企画Vol.4「チューホフを待ちながら」 10/21(水)～10/23(金)19:30、10/24(土)14:00/18:00、10/25(日)14:00 一般3,000円、学生2,000円(当日各300円増)、高校生以下1,000円。072-782-2000

アイホール

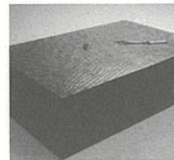


10・3(土)～11・23(月・祝) つくるとは。波紋のように広がる問い

「あなたにとって、作品をつくるとはどういうことですか?」近現代美術の所蔵品を核にして根源的な問いを作家に投げ掛け、作品が生まれる背景を探ります。

『所蔵品展2 答えのない質問』 10/3(土)～11/23(月・祝) 10:00～18:00(入館は17:30まで) 一般200円、大高150円、中小100円 072-772-7447

美術館



10・18(日) 木靴の音が聞こえてくるよ…

バルト海沿岸の国、リトアニアでは、毎年夏になると全国の町や村で歌と踊りの祭りが開かれます。同国を代表する民族舞踊集団「ダイナヴァ」が、色鮮やかな民族衣装をまとい、舞い踊る花々のように、華やかな祭りを再現します。

『アイフォニック地球音楽シリーズ144 花々と舞うリトアニア』 10/18(日)14:00 一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増) 072-780-2110

伊丹アイフォニックホール



リトアニア民族舞踊集団「ダイナヴァ」

10・31(土) N響メンバー、ブラスの世界!

日本を代表するNHK交響楽団トップメンバーによる、ダイナミックで華麗な金管五重奏アンサンブルの世界! クラシックから映画音楽までお馴染みの名曲を、N響首席トランペット奏者、関山幸弘のトークとともに楽しみください。

『NHK交響楽団トップメンバーによる ブラサンサンブルコンサート』 10/31(土)16:00 一般3,000円、小中高生1,500円 072-778-8788

いたみホール

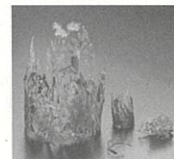


10・30(金)～12・6(日) 今年の大賞作品は要チェック!

恒例の伊丹国際クラフト展、今年は「ジュエリー」です。445名の中から選ばれた90名の作品を展示販売します。「エコ」や「自然」など、時代を反映した作品が多く集まりました。観ても身につけても楽しい作品の数々を。

『2009伊丹国際クラフト展「ジュエリー」』 10/30(金)～12/6(日) 10:00～18:00(入館は17:30、最終日は16:30まで)。無料。表彰式10/31(土)11:00から。072-772-5557

伊丹市立工芸センター

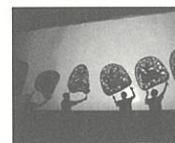


11・15(日) アンコール文明が生んだ夢幻のドラマ

影絵人形を遣いながら演者が舞踊的な動きをみせるカンボジアの大型影絵芝居「スバエクトム」。芝居を唯一正統に伝えるティー・チアン一座が12年ぶりに来日。光と影のドラマを繰り広げます。2005年ユネスコ無形文化遺産リスト選定。

『アイフォニック地球音楽シリーズ145 光と影のパノラマ カンボジアの影絵芝居』11/15(日)14:00 一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増) 072-780-2110

伊丹アイフォニックホール



ティー・チアン一座

11・14(土) 華麗な夢のクリスマスプレゼント

芸術の都サンクトペテルブルクを拠点に活躍する人気のロシア国立バレエ団、待望の5度目の来日公演は、クリスマスシーズンの幕開けにピッタリの「くるみ割り人形」。美しい音楽に彩られた華麗な舞台を是非ファミリーでお楽しみください。

サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエ「くるみ割り人形」(全2幕) 11/14(土)14:00 SS席7,500円、S席6,500円、A席5,500円 072-778-8788

いたみホール



アイテム

2009年10月1日発行(季刊秋号・通巻62号)
発行:(財)伊丹市文化振興財団
編集:アイテム編集委員会
表紙イラスト:ニシキタダシ
デザイン:三澤敏博(絡線堂)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
伊丹市立文化会館「いたみホール」内
Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan
Email→itamihall@hcc1.bai.ne.jp

<配布場所>市内・近隣の文化施設で取り扱いいただける他、こんなところで配布協力いただいています。アリオ1&2、伊丹酒蔵通り、ひがし商店街、タミータウン、宮ノ前商店街、ビバ伊丹、三軒寺前広場周辺のお店、伊丹シティホテル…ほか市内各所

チケットプレゼント

『中右コレクション 幕末浮世絵アラカルト 大江戸の賑わい～北斎・広重・国貞・国芳らの世界～』 11/28(土)～1/11(月・祝)《美術館》5組10名。 11月15日必着。



ラストホール
併設有料駐車場
約30台

市立宮ノ前地下有料駐車場ゾーンのご案内
伊丹アイフォニックホール B・Cゾーン
いたみホール A・Fゾーン
みやのまえ文化の郷 Cゾーン

JR猪名寺駅